

# 令和7年度出水期に向けて、減災対策の推進に向けた課題や取組状況を共有

- ・令和7年度出水期に向けて、「第13回 佐波川水系大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催しました。
- ・令和6年度の出水における取組の効果や課題、各機関における令和6年度の出組状況と令和7年度の出組予定を共有し、佐波川流域全体の安心・安全に繋げるため、ハード・ソフト対策を引き続き関係機関で連携して取り組むことを確認しました。

## 【開催概要】

- 日時: 令和7年5月23日(金) 13:30~14:30
- 場所: 山口河川国道事務所 第一会議室
- 議事
  - (1) 規約の改正
  - (2) 令和6年度佐波川出水振り返り
  - (3) 佐波川水系大規模氾濫に関する減災対策協議会について
  - (4) 令和6年度の出組と令和7年度の出組予定
  - (5) 今後のスケジュール(案)
  - (6) その他(情報共有)



協議会の様子

- 出席機関(7機関)  
 山口市、防府市、周南市、山口県土木建築部、山口県総務部、下関地方気象台、山口河川国道事務所
- 報道機関(2機関)  
 日本放送協会 山口放送局、(株)中建日報社

## 【山口河川国道事務所長 記者への主なコメント】

- ・今回の協議会では、**関係機関と顔の見える関係作り**ができたため非常に有効であった。
- ・令和7年度は、気候変動の影響などもあり、いつ大雨が降るかわからなくなっているため、市民が適切に避難をできるように防災教育をすすめていきたい。



## 【令和6年度佐波川出水振り返り】

- ・令和6年度は、7月に2回、11月に1回、計3回大きな出水が発生した。特に、非出水期の11月1日から11月2日にかけて、山口県においては、前線上を台風21号から変わった低気圧が東シナ海を東に進んだことにより、佐波川流域では堀雨量観測所で**総雨量217mm**、11月としては**1か月分の雨量の平均の3倍の雨量**を観測、漆尾水位観測所では**避難判断水位を超過**。
- ・近年、気候変動の影響で雨量が増大している一方で、**非出水期での豪雨にも注意が必要**であることを確認。

## 【令和6年度の出組と令和7年度の出組予定】

- ・各委員より、令和6年度の出組と令和7年度の出組予定を説明。



山口市副市長

- ・令和6年度は、洪水に対してリスクの高い区間を住民と共同点検、まるごとまちごとハザードマップの設置、総合防災情報システムと防災ポータル<sup>※</sup>の運用を開始した。
- ・令和7年度は、引き続き総合防災システム、防災ポータルを活用して迅速な災害対応や適切な情報提供に取り組む。



山口県総務部理事  
(危機管理担当)

- ・令和6年度は、自主防災アドバイザーの養成研修を実施した。
- ・令和7年度は、既存のアドバイザーを対象とした、自主的な避難所運営をテーマとしたスキルアップ研修を予定している。こうした取り組みを引き続き行い、**地域防災力の向上**に努める。



防府市長

- ・令和6年度は、防災必携「災害から命を守る」の全戸配布、緊急告知防災ラジオの土砂災害・津波災害警戒区域内世帯への無償貸与、子ども防災士の養成等を実施した。
- ・令和7年度は、広域防災広場の整備、自主防災組織の更なる強化、子ども防災士の養成、津波浸水深表示等に取り組む。



下関地方気象台長

- ・線状降水帯の予測精度向上に向けて取り組んでいる。
- ・令和6年度は、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけについて、府県単位で発表することとした。
- ・令和7年度以降は、市町村単位での発表、また、発生をお知らせする情報の早期発表に向けて取り組む。
- ・防災気象情報の体系整理を行っており、令和8年度から新たな運用を予定している。



周南市副市長

- ・令和6年度は、防災専門員を中心とした出前トーク、統合型GISシステムの導入及び「しゅうなんデジタルマップ」の公開、防災ガイドブック「しゅうなん防災」の配布、「赤ちゃんとママを守る防災ノート」作成を行った。
- ・令和7年度は、災害情報システムのバージョンアップ、市民へのLINEを活用した情報周知等に取り組む。



山口河川国道事務所長

- ・令和6年度は、堤防整備や排水樋門工事等のハード整備、水防連絡会、合同巡視、排水作業の訓練、出前講座等のソフト対策に取り組んだ。
- ・令和7年度も、堤防整備、水防連絡会の開催、学校の先生への説明等による防災学習の推進を予定している。